

## 小布施町視察

### ◆北斎館◆

小布施町にて、北斎館に入館後、各自、自由に町中を散策しました。



### ◆自由散策◆



## 地域づくり県外視察研修に参加して

群馬県地域づくり協議会会長 椎名祐司

群馬県地域づくり協議会では、平成17年2月新潟県村上市（町屋の人形さま巡り）、平成18年8月新潟県十日町市（大地の芸術祭アートビエンナーレ）、平成21年11月福島県矢祭町（矢祭町もったいない図書館）など3回にわたる県外研修（実践講座）を行ってきました。

今回、6年ぶり4回目となる県外研修（長野県須坂市・小布施町）を開催し、事務局を含む35名の皆さんが県内各地より参加しました。

須坂市は明治末期から大正期にかけて製糸業で大きな発展をとげました。世界恐慌のあおりを受けて製糸業は衰退しましたが、生糸の町として栄えた往時をしのばせる遺産が数多く残っていることから、蔵の町並み巡りもあわせて研修を行いました。

午前7時30分に群馬県立産業技術センターを出発し、午前10時には研修先である蔵のまち観光交流センター（観光案内処）に到着しました。

蔵のまち観光交流センターは明治中期に建てられ、旧角一製糸場のまゆ蔵として使用されて

いた3階建ての建物です。蔵の町並みの観光案内処として、平成21年6月1日に開館しています。

蔵のまち観光交流センターの2階において、須坂景観づくりの会理事長小林義則さんより須坂景観づくりの会の取組についてお話を伺いました。

須坂景観づくりの会は、須坂市に想いのある30代から40代の若者たちが、須坂の景観づくり事業を通して、須坂市の自活力の増進と郷土愛の育成を図ることを目的に2012年5月に発足しました。

須坂景観づくりの会では郷土愛育成事業として、地元の小学生と町並み授業を行ったり、黒壁色塗り体験などを行う「黒壁・緑化プロジェクト」を第一の事業として取り組んでいます。

「黒壁プロジェクト」は須坂市の歴史的建造物を結ぶ小路（こみち）を趣と統一感のある町並みにするため、通り沿いの住民や関係者の方に直接説明に伺い、綿密な打ち合わせを行うなどしながら、木目の板壁や木目の格子戸を「黒